

文化部会Ⅱ（音楽系）

各部会「多彩な交流活動の拡大」の特集は、前号に続き文化部会Ⅱ（会長：重松豊彦・国9）の14グループです。ざらりーわ編集部は3月20日定例ミーティングにお邪魔して部会の活動状況や今後の目標についてお聞きしました。

（編集・八木）



文化部会Ⅱ（音楽系）の組織と活動 14グループが連携して活動推進

- 1) 混声合唱団コーロKSC：会員188名で構成
活動内容：福祉施設への友愛訪問活動等
- 2) SCハワイアンズ：会員12名で構成
活動内容：生バンドとフラダンスのボランティア
- 3) 楽遊クラブ銀雅：会員35名で構成
活動内容：高齢者福祉施設への友愛訪問活動等
- 4) KSC男声合唱団：会員28名で構成
活動内容：福祉施設への友愛訪問活動等
- 5) 大正琴プリムラ：会員11名で構成
活動内容：友愛活動として施設訪問
- 6) KSC民謡クラブ：会員44名で構成
活動内容：民謡による地域社会への訪問活動
- 7) コーラス・タルミ：会員13名で構成
活動内容：高齢者福祉施設への訪問活動
- 8) KSC手話ソング同好会：会員70名で構成
活動内容：高齢者福祉施設等への訪問活動
- 9) KSCハワイアンフラ：会員10名で構成
活動内容：フラダンスによる福祉施設友愛訪問活動
- 10) SCクラブ大正琴：会員8名で構成
活動内容：月に10回以上ボランティア活動
- 11) 詩吟同好会：会員22名で構成
活動内容：介護施設吟詠による慰問
- 12) 銭太鼓 神戸輝星会：会員8名で構成
活動内容：児童館での交流や親子体験
- 13) 須磨トレモロクラブ：会員11名で構成
活動内容：ハーモニカ演奏主体に活動
- 14) フルートクラブ ジークレフ：会員5名で構成
活動内容：施設等でのボランティア演奏

“さらに幅広い活動を”

文化部会には24のクラブがあります。伝統文化系が10グループ、音楽系が14クラブです。

今回は、前号に続き音楽系の14グループの紹介をいたします。
（部会長 重松豊彦）

1) 混声合唱団コーロKSCの取組と課題

団長：川村 進

混声合唱団コーロKSCは、年齢をかさねても楽しく歌い続けられる合唱団として技術を磨き、親睦を深め、ボランティア活動を通じて社会に貢献することを目的に活動しています。現在の団員はKSCの1期生から25期生まで総勢188名が在籍し、毎週1回（月曜日13：00～16：30）しあわせの村の研修館ホールで練習をしています。ボランティア活動の他、毎年コーラスめっせ、兵庫県合唱祭、学園祭等に出演しています。本年11月4日（月・祝）には第12回定期演奏会（於：神戸文化ホール）を開催する予定です。課題は、混声合唱団としての男声女声のバランスで、男声パートを増やすことが急務となっています。200名近い人数で歌う混声合唱の醍醐味を味わいませんか。楽しく豊かな時間を、一緒に過ごしましょう！



2) SCハワイアンズ

代表：石田幸司

SCハワイアンズは、バンドとフラダンスの2グループより構成され、ボランティア活動に参加してまいりました。主な活動先は、神戸市のイベント行事、水の科学博物館等への出演、また介護施設や支援施設を定期的に訪問しています。

ハワイアン曲はもちろんのこと、懐メロや季節にあった唱歌を施設利用の方々と共に楽しんでおります。時折、アンコールの要



望や、涙を流されるお客様の表情に接するにあたり、出演者一同も、感動と勇気を得て感謝しております。

芸の道は、遠く厳しいものが在りますが、招待して頂いたお客様に喜んで頂くため、一層の精進を重ねて参ります。